

失敗に向き合えるのも、勇気です

夏休み中に、部活や補習の合間にいろんな生徒と話しましたが、中には「失敗」したことに對する相談もありました。「自分のミスで試合に負けちゃった・・・ショックです。」「友達と喧嘩して、傷つける言葉を言ってしまった・・・」などなど。そのたびに私は、ニューヨーク・ヤンキース時代のイチローさんが、日米通算4000本安打を達成した時のインタビューを例に出します。

『僕はけっして、いい結果を残したことを誇れる訳ではない・・・4000本のヒットを打つために、8000回以上は悔しい思いをしてきているんだ。』と彼は言っています。私が立派だと思ふのは、相談してきた彼らが、失敗から目を背けずに「自分なりに向き合っ」具体的なプランを持っていたことです。その勇気ある姿勢は胸を張って誇ってよいと思います。

さて、学習でも部活動でも、やっている「気分」だけではだめですね。具体的な目標を立てて、ひたむきに努力することが結果的に次の成長につながります。大きな行事が続く2学期は、それが実現できる時間。いっしょに頑張っていきましょう!



2022 甲子園より「友よ!」



ブラバンの力、再発見!

夏休み
部活
体感



今年の高校野球全国大会は、野球以上に、「ブラスバンドの力」を再発見できた年でもありました。ここ一番のチャンス時に演奏される市立船橋高の「♪市船ソウル」や南こうせつ氏が作曲した明德高の「♪校歌」、智辯和歌山高の「ジョックロック」などに代表されるように、各校のオリジナル曲演奏は、選手の能力を引き出す力があるように感じました。7月30日(土)には鳥取県吹奏楽部コンクールが開催され、法中部員の演奏を聴きに倉吉未来中心大ホールに出かけました。彼らが演奏する曲は『星空の物語』。自分たちが思い描く物語(ストーリー)を見事に形にしながら、今持てる力を最大限発揮したよい演奏だったと思います。後日、家族を招待してコンサートも開催されましたが、「心がポカポカになりました。」と、皆さんが口々に語っておられました。・・・これからも人を感動させる音楽を追及して行ってほしいです。

ザリガニ釣りはいと楽し・・・からずや?



特定外来生物の「アメリカザリガニ」釣りに参加してきました。これは科学部が毎年行っている調査研究であり、場所の詳細は言えませんが、南部町自然観察指導員の桐原真希さんから「ザリガニ釣りは、なぜ必要なのか」「どうしたら釣れるのか」についてレクチャーしていただいた後に、科学部に交じって糸を垂れました。もちろん餌になるアタリメは忘れてはいけません。

1時間近くで合計60匹を超える(かごも含む)釣果にホクホク。一匹につきトンボが200匹守られるそうで、(ということは、12000匹以上の保護?) 食物連鎖の過程で、トンボを食べるブッポウソウの保護にも役立つそうです。

・・・でもザリガニも同じ命。楽しんでばかりでよかったのかなあ?(悩)



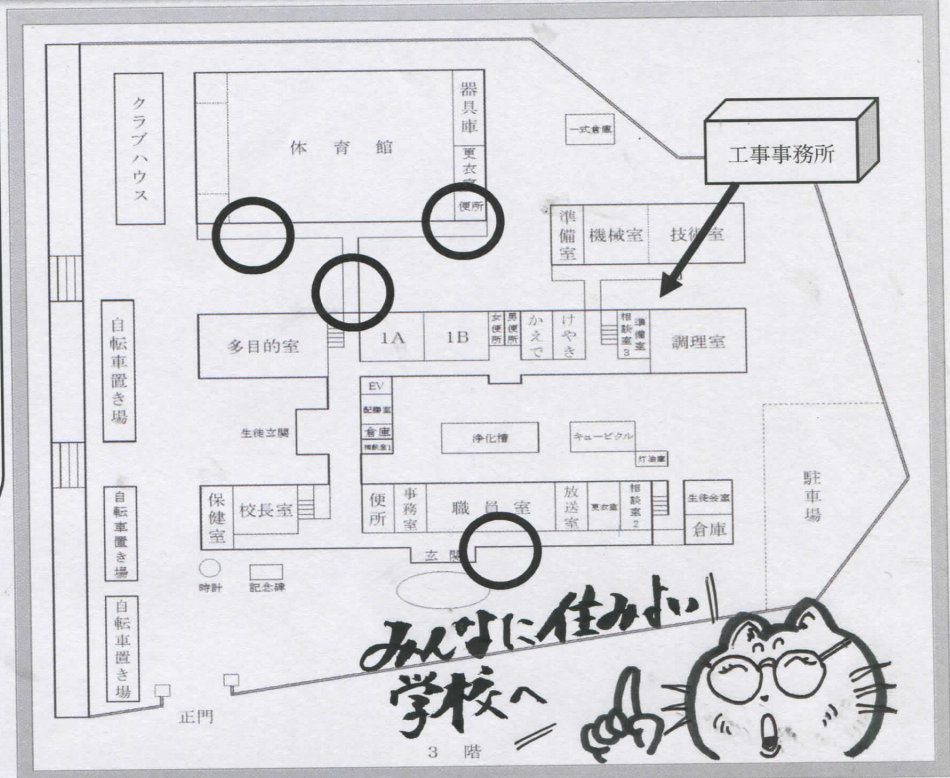
ウラハツバ。

UD 工事が始まりました!

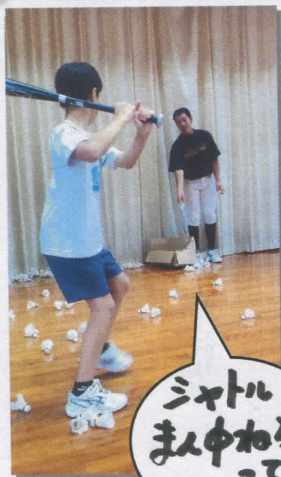
UD(ユニバーサルデザイン)の工事が、益明けから始まっています。(〇の部分)

玄関や渡り廊下、体育館周辺に、車いすも対応可能な、なだらかなスロープができる予定です。

学校訪問時の際には皆様に大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解・ご協力をお願いします。



夏休みのスナップ ～日々、努力していること～



シヤトル
まん中から、
って!

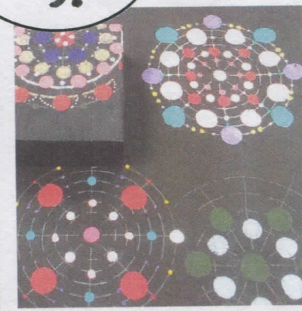


おいに
ついて
こーい!

男女部員
41名!!

県3位の
誇りを胸
に、日常生活
を大切に!
次のより
高い目標
へ向けて努力!

日常に
つぎのこと
から。



ドットからアートへ!!



フラック
リーダーです!
うまーい!

ありがとう

校長室の
カーテンが
変わりました!
はい!



夏の
名言

- 俺たちは(総体に)勝つことが目的じゃなくて、人格を磨くためだと思っとる。(3年生サッカー部)
- 1・2年生が楽しく踊れるような振り付けを、かわいくがんばっちゃいます。(3年生ダンスリーダー)
- 「青春って密」なんです。(仙台育英高監督 須江航さんのインタビューより)